



イクコママの乳がん日記 ⑦

## 子どもの言動に変化

右胸に乳がんが見つかったイクコさん(42)ですが、抗がん剤治療は予定通りに進みました。髪が抜けたり、手足がしびれたりするなどの副作用もありましたが、自分なりに対策をして前向きに過ごすこと

ができました。全てが順調に進んでいると思っていましたが、これまでママの涙をたくさん見てきたリコちゃん(4つ)の言動に変化が見られるようになりました…。(第4週に掲載)

① ホジティグになつたといえ心配事が次々に表れます。



② 乳がんの講演会などに行くこと... (知っておく事はとても大切ですが)



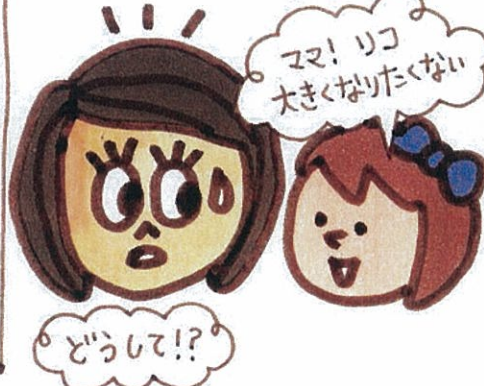
③ 乳がんになって「リンパ浮腫」の存在は知っていましたが、実感があったのは手術が近づいてからでした。



④ リンパ浮腫専門の看護師さんにいろいろ聞きながら気持ちを落ち着かせて、少しずつ受け入れる事ができました。



⑤ 順調に治療が進む中、リコのビックリ発言。



⑥ リコ「ママとずっと一緒にいたいから」



### 私の悲しみ背負うリコ

2013年5月  
リコがいきなり「大きくなりたくない」と言い出した。理由を聞いたら「ママとずっと一緒にいたいから」。ある日は「死ぬって何?」って聞かれてびっくり。幼稚園でお友達が言っていたらしい。何かピンときたのか?  
「おっぱいの病気になる」と話していたけど、「死」にまつわる話はしていない。でも、私のあまりの大泣きに何か感じていたみたい。私は前向きになって治療も順調に進んでいるから

ルンルン(?) だったけど、私の悲しみを背負わせたリコの心のケアをしていなかったことに気がきました。私に不安な顔を見せることのないに…。リコ、本当にゴメンね。  
それからは「ママはちゃんと病院にいってるからね」「いつも一緒だよ」、もともと「大好き」ってよく言っていたけどさらに言うようにしたよ。そしたら前みたいに「ケーキ屋さんになりたい」と言うようになったからホッ。今度は「ケーキ屋さんとゆびわ屋さん」と…。ってたくさんになった! ママはうれしい。

### 家族のサポートも重要

がんになると死への恐怖は多かれ少なかれ出てくると思います。治療施設では医師、看護師、薬剤師らが患者さんのメンタル面のケアをしています。家族の精神面をサポートすることも重要ですね。以前、患者さんが3歳のお子さんと来院した際、「お母さん大丈夫だよ!」と話すときすごく安心していました。  
また最近、子どもへの遺伝に関する質問が多い印象です。遺伝性乳がんは全乳がんの1割程度かと思えます。乳がんが多い家系の患者さんには遺伝子カウンセリングをお勧めしています。

監修・玉城研太朗医師  
(那覇西クリニック 乳腺外科)